

菊池高3人 難関突破！ 情報処理の国家資格

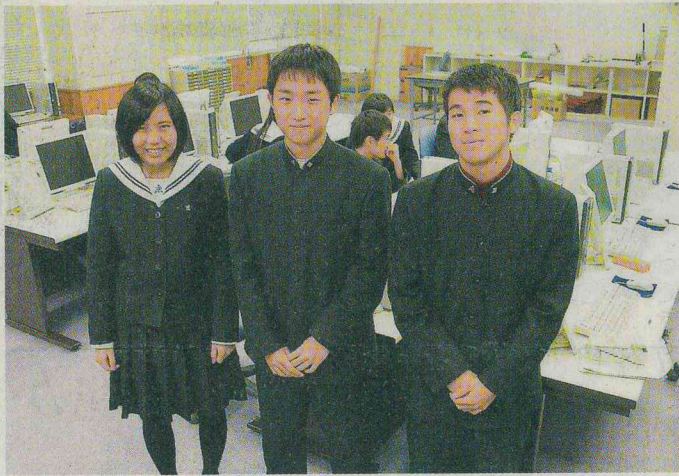
菊池高商業科の3年生が、昨年11月の国家試験で、情報処理技術者資格（ITパスポート）を取得した。高校生の合格率は25・2％という狭き門だ。

基礎知識や理論理解を問う4択制の100問に6割以上正答しなければならぬ。同校からは12人が挑戦し、古田真治君(18)、金光勇輝君(18)、蒲地理保さん(18)の3人が合格した。

古田君は「合格に関係なくやりきることができて満足」。金光君も「空き時間を見つけては教材を開いて勉強した」と、努力が実ってうれしそう。

指導した山田光春教諭(50)によると、商業系の生徒は、情報処理系に比べて専門的な授業も少なく、「朝から課外授業に参加するなどして頑張った成果」という。卒業後は医療系事務職を目指している蒲地さんは「試験を通して学んだ知識を、社会人になって生かしたい」と自信を深めていた。

(佐藤公亮)



ITパスポートを取得した菊池高の3人。左から蒲地理保さん、金光勇輝君、古田真治君。菊池市